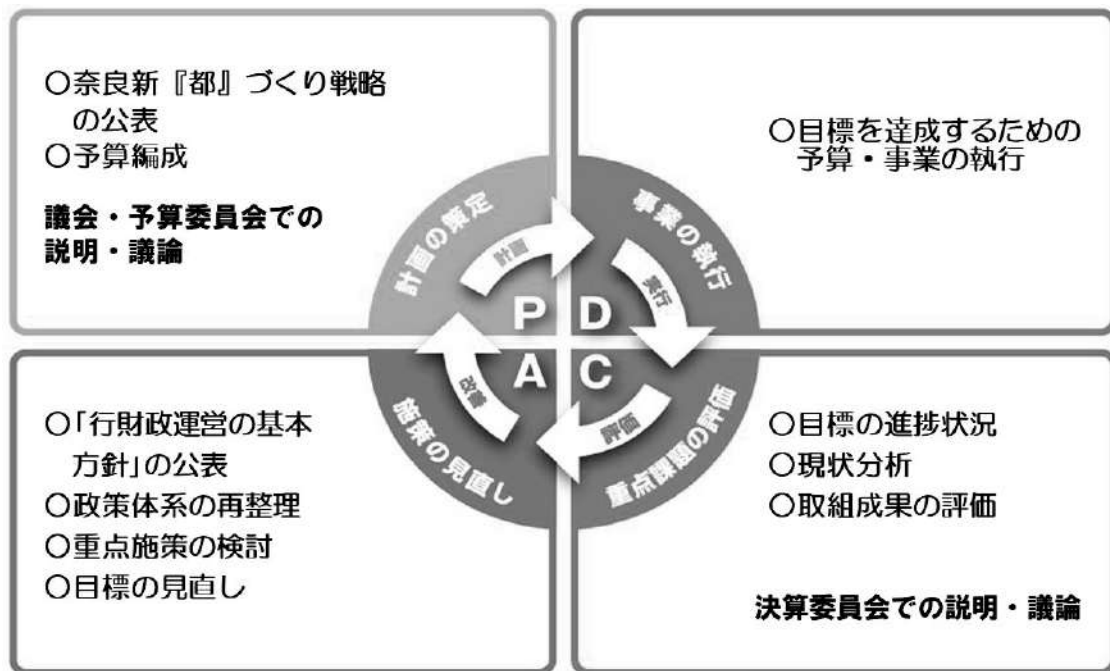


はじめに

(1) マネジメントサイクルの推進

- 奈良県では、県政の目指すべき姿を「地域の自立を図り、暮らしやすい奈良を創る」とし、その実現のため、「奈良新『都』づくり戦略」に盛り込まれた諸施策に全力で取り組んでいます。また、新型コロナウイルス感染症の拡大を経験し、大阪などの大都市に依存してきた本県の経済・社会の現状を見直し、地域の自立を図ることが改めて求められています。
- これらの状況を踏まえ、県政の目指すべき姿を実現するため、これまでの県の取組による成果の検証を徹底しつつ、県民ニーズを踏まえた真に有効な施策の実現に努めていく必要があります。
- そのために、各種指標による現状分析や取組の評価、これらを踏まえた適切な指標による具体的な目標設定等を、予算編成や事業の執行に的確に反映していくというマネジメントサイクルの取組が必要となります。(下図参照)



(2) 「重点課題に関する評価」について

- 行財政運営の改善・見直しのために、「CHECK (評価)」はマネジメントサイクルにおける重要な要素です。今年度は、『奈良新『都』づくり戦略 政策推進プラン』(令和2年2月発行)で示した「目指す姿」(政策目標)等について、分析・評価するとともに、課題を明確化した上で今後の取組方針を整理し、『令和2年度 重点課題に関する評価』としてとりまとめました。
- 今回の評価結果を踏まえ、重点的に取り組む施策を検討し、次年度の「奈良新『都』づくり戦略」や予算編成等に着実に反映させていくとともに、新型コロナウイルス感染症に打ち勝つ力強い奈良県を目指します。